

## [別紙様式]

# 学校読書活動の取組【長岡京市立長岡中学校】

## 1 実践のねらい

読書に親しむ態度を育成するとともに、望ましい読書環境づくりを進める

## 2 学校の概況や児童生徒の様子等

長岡京市の中央部に位置。生徒数は1年167人(5学級)、2年175人(5学級)、3年204人(6学級)、特別支援学級3学級の中規模の学校。教育目標は、「目標をもち、自ら学び、未来を切り拓く力を育てる【自主】」、「豊かな人間性と人権感覚を身に付け、人間関係を広げ、仲間とともに生きる力を育てる【友愛】」、「強くしなやかな意志、健康でたくましい身体を育てる【剛健】」。生徒はよく学び、文化系、体育系とも部活動は盛ん。多くの生徒は学校生活を楽しいと答えている。

## 3 実践内容

### ◇「100冊読書」を中心とした読書啓発・推進活動

- ・「目指せ！100冊読書」・・・全校生徒がそれぞれ読んだ本を学期末ごとに記録し、30冊、50冊、100冊達成ごとに表彰。
- ・朝読書の取組（1、2年生について朝学活の5分～10分で）
- ・「学級文庫」・・・各教室に25冊の本と国語辞典数冊を設置。学級担任のお薦めの本も。

### 〈過去3年間の100冊読書の結果〉

平成26年度	100冊以上・・・12名	50冊～99冊・・・33名
平成27年度	100冊以上・・・12名	50冊～99冊・・・33名
平成28年度	100冊以上・・・18名	50冊～99冊・・・36名



校長先生から賞状をもらう生徒

### ◇国語科を中心としたビブリオバトル（知的書評合戦）の取組

- ・国語の授業で、1年生は年2回（7月と10月初旬）本を提示して、2年生は年1回（10月初旬）本と作成したビブリオカード（ポップ）を提示して、3年生は年1回（10月初旬）ビブリオカードを提示して5分間の公式ルールで実施。
- ・「読むこと」「話す聞く」の観点で、5～7人のグループの中で、読み切った本について、原稿を読むのではなく、聞き手を見て話すことを目標にしている。
- ・10月初旬は、全クラスで同時期に実施することによって、教員も生徒のグループに入って参加・見学し、読書活動推進の教職員研修としている。

- ・ビブリオバトルのグループ活動の形態を応用し、社会科ニュースバトルも実施している。



タイマーをセットしてビブリオバトル



教員も生徒のグループに入っでの参加

#### ◇生徒の図書文化委員会の活動

##### 〈「読書キャンペーン活動」の実施〉

- ・夏休み前と冬休み前に、委員全員が分担して、お薦め本の紹介とポスターやポップづくりなどの広報活動を行う。
- ・お薦め本の紹介は、図書委員全員とすべての先生と図書ボランティアにも原稿を依頼し、昼の全校放送で紹介したり、冊子にして学級文庫や図書室に置く。

〈学級文庫の管理、図書室の昼の貸し出し当番、「選書会」の手伝いなど〉

##### 〈図書委員会によるビブリオバトルの実施〉

- ・前後期1回ずつ、6グループで実施し、チャンプ本を図書室に展示し、図書だよりで紹介。



図書委員会が作成した冊子の表紙

#### ◇図書室の取組と活動～司書と図書ボランティアさんを中心に～

##### 〈図書の貸し出し〉

- ・学期中は昼休みに毎日開室。司書が在室する火・木は放課後も開室。1人2冊貸し出し。
- ・夏、冬休み前特別貸し出し1人5冊。
- ・読書スタンプ、貸し出しビンゴ、5冊分貸し出しプレゼントなどの取組。

生徒作成啓発ポスター



##### 〈選書会〉

- ・年1回、6月下旬に実施。昼休み放課後に300冊程度の新しい書籍を展示し、一人3枚の投票用紙をもって、図書室に置いてほしい本に投票（挟む）。
- ・設営、準備、受付、投票集計等は、司書・図書ボランティア、図書文化委員会で。
- ・H29年度の投票者数は215名。（生徒・職員・ボランティアの合計）



狭い図書室に多くの生徒が集まる選書会



展示された書籍を手に取る生徒たち

#### 〈図書室の環境作り～「来たくなる図書室 ほっこり和む図書室に」〉

- ・ 季節ごとの飾り付け（入学式・選書会・ハローウィン、バレンタインデー、クリスマス、卒業式など）
- ・ 本棚の仕切り、ブックカバープレゼント
- ・ 図書館だより（司書作成。毎月1回発行）

#### 4 成果と課題

- ・ ビブリオバトルや朝読書などの取組によって、多くの生徒が本に出会う機会が増えた。また、仲間の発表を聴いて様々な本に関心をもったり、グループによる話し合いの習慣が定着したりした。
- ・ 図書室の来室生徒数は、例年1, 2年を中心に増え続け、多くの貸出冊数を記録している。また、ボランティアさんの活動の成果もあり、いろんな生徒が和やかな雰囲気でも過ごせる図書室になっている。
- ・ 国語科で作成したビブリオカードが、長岡京市図書館に展示されたり、ボランティアさんのブックトークを図書委員の生徒が聴いたりするなど、毎年取組が広がってきている。
- ・ 100冊読書の取組で表彰される生徒が多い一方、全く読まない生徒もかなりいるので、忙しい中学生ではあっても、いろんな機会を作って、読書に関心を持ち、本といい出会いができるようにすることが課題である。
- ・ 今後も、司書、図書館教育部の教員、教科（国語科等）担当者が、常に連携を図って現在の取組を継続発展させることが大切である。



長岡京市図書館に展示されたPOPカードと書籍

#### 5 その他

##### 【図書館ボランティアについて】

〈目的〉学校と家庭との連携によって、より充実した図書室にし、豊かな読書活動を推進する。

〈活動内容〉

- ・ 昼休みの開室支援（生徒当番の開始前の4月から）
- ・ 毎日の新聞整理、新聞の切り抜き

- ・ 選書会の準備及び片付け等
- ・ ブッカー貼り、飾り付け、整理・掃除
- ・ 「お薦め本」の寄稿、生徒の対応
- ・ 年2～3回の図書ボランティア会議で交流
- ・ 図書文化委員会へのブックトーク など

〈ボランティアの登録人数〉

平成 25 年度	9 名	平成 26 年度	16 名
平成 27 年度	23 名	平成 28 年度	25 名
平成 29 年度	29 名		



選書会の準備をされるボランティアの方々